

地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)
「目指せ！持続可能な社会の担い手を育む教育の実践」
～ユネスコ世界ジオパークとともに～



文理総合

生活福祉

商工業・芸術



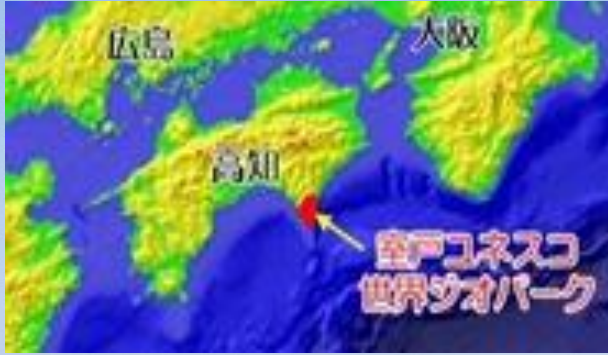
平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
107名	93名	79名	76名

(令和元年度指定)

高知県立室戸高等学校 総合学科

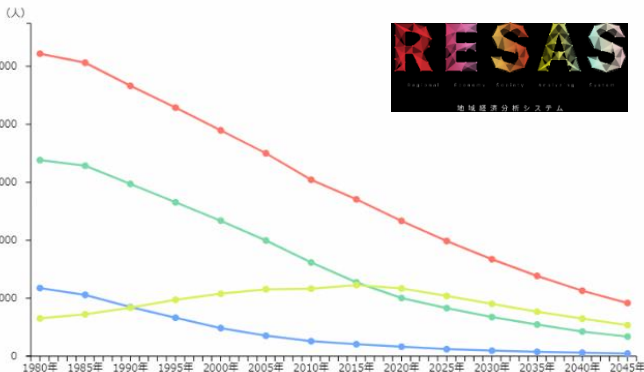
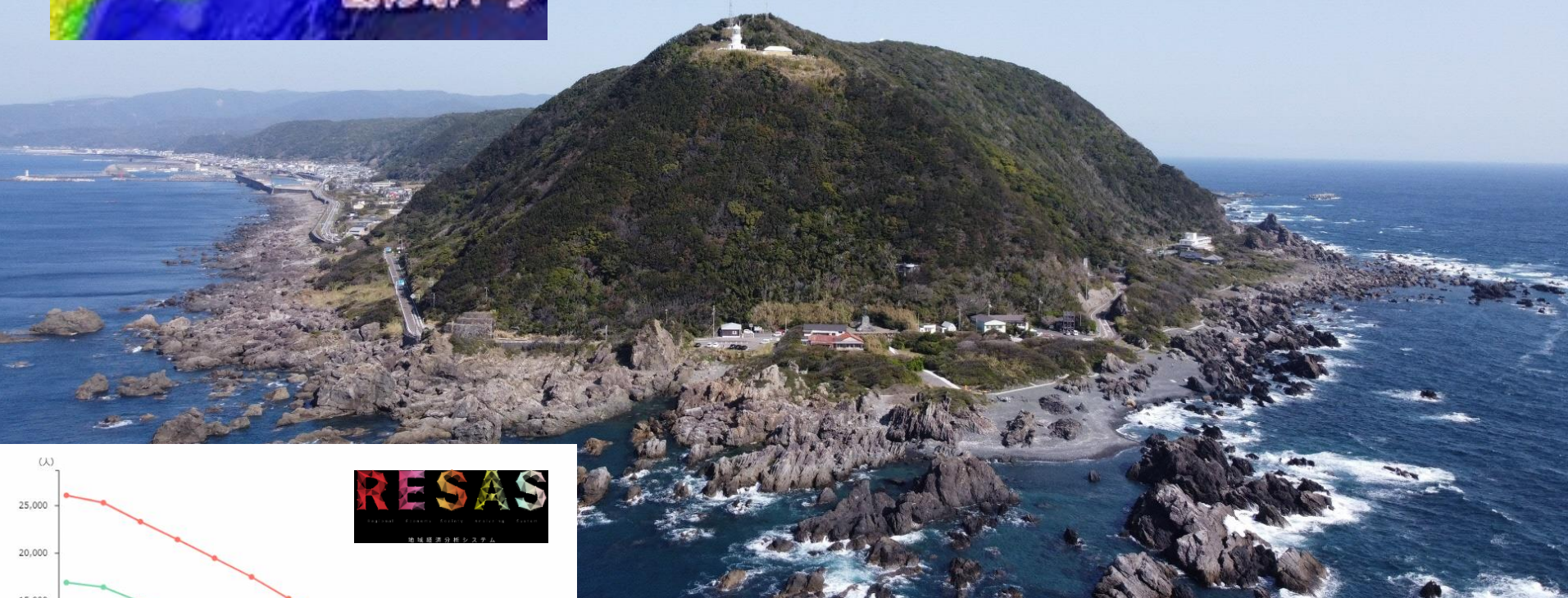
高知県室戸市

- ・室戸市全体が「ユネスコ世界ジオパーク」認定(平成23年)
- ・地質遺産をとりまく自然環境や地域文化なども保全対象となっている
- ・中学校4校、高等学校1校 **※本校のみ**
- ・ジオパークネットワークを活用した他地域、学校との交流や意見交換を活発に行っている



【継続的な交流をしている学校・地域】

- ランカウイジオパーク (マレーシア) - 「国際防災の日」「地球の日」合同イベント
- 新潟県立糸魚川白嶺高校 - 「白嶺防災フォーラム」への参加
- 徳島県立三好高校 - ジオパーク構想地訪問、意見交換会
- 長崎県立口加高校 - ジオパーク訪問、意見交換会



(2020年) (2045年)

総人口 : 11659人 → 4579人
 年少人口 : 811人 → 224人
 生産年齢人口 : 5008人 → 1683人

日本で5番目に人口が少ない市。
 高齢化率も50%を超え、典型的な少子高齢化の市

構想概要（令和元年度作成）

令和元年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）

目指せ！持続可能な社会の担い手を育む教育の実践 ～ユネスコ世界ジオパークとともに～

研究開発の背景

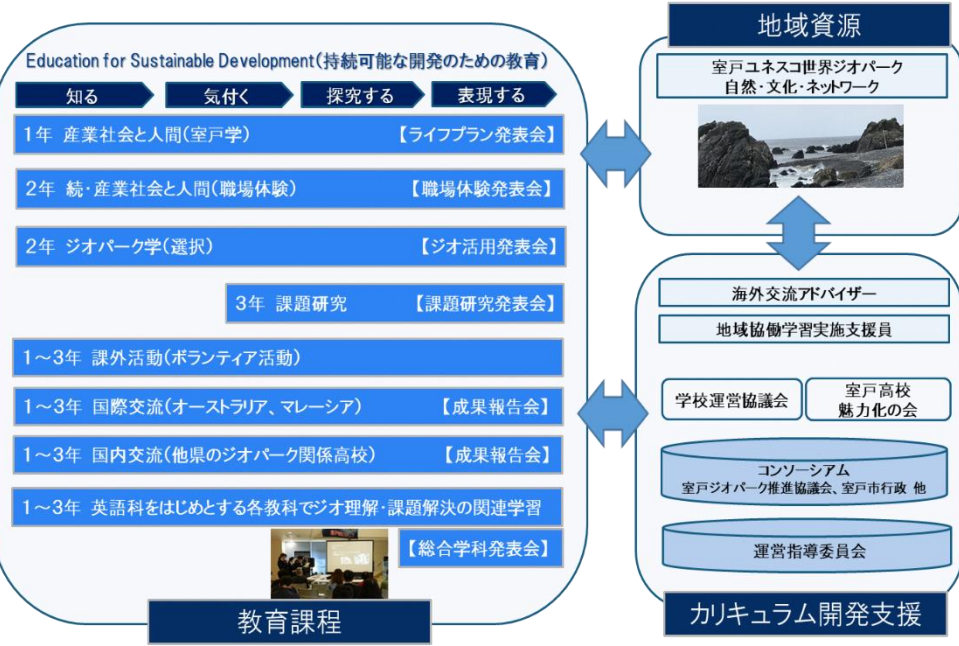
本校が位置する高知県室戸市においては少子高齢化が急速に進み、将来、地域を支える人材育成が喫緊の課題である。

室戸地域が、室戸ユネスコ世界ジオパークに認定されていることを生かし、その資源を有効活用し、国内外の様々な地域と関わる機会を提供することによって、グローバルな視野で物事を捉え、地域の課題を解決できる資質を持つ人材を育成する。

実施体制

キャリア教育に関わる特色ある科目の取組を発展させ、人とのつながりの深化、地域貢献、地域課題解決学習を行うため、コンソーシアムを組織するとともに海外交流アドバイザー等の配置や他組織との連携強化によってカリキュラム開発に取り組む体制をつかった。また、室戸ユネスコ世界ジオパークの素材、人的ネットワークを活用し、国内外の高校との交流を生徒が積極的に活動する機会を増加させた。

カリキュラムマネジメント 世界的な視野を持って地域で活躍できる人材育成



目標

- 地域との協働による探究的な学びを実現する学習を充実「産業社会と人間」「課題研究」など
- 地域行事への参加等、すべての教育活動により、地域を活性化し、地域の期待に応える
- 国内外の世界ジオパーク認定地域の学校間との交流拡大
・地元ジオパークの世界ジオ認定に寄与
・さまざまな地域の生徒と関わり、グローバルな視点を持たせる

取組状況

- ・地域の外部講師と協働で特色ある科目の授業実践と授業改善カリキュラムの見直し
- ・地域の依頼や自主的活動により85%の生徒が地域貢献活動に参加
- ・口加高校、糸魚川白嶺高校マレーシア・ランカウイ高校などジオパークに関係する高校と交流し、地域振興について意見交換する機会が増大
- ・生徒の成果発表も場も拡大

成果と課題

室戸ユネスコ世界ジオパークの資源である自然、人材、グローバルネットワークを生かし、授業改善や国内、海外交流の場の拡大、成果発表の場の提供を行った結果、生徒の英語の学力向上、地元に関する関心・意欲の高まり、地域貢献活動等、自ら行動しようとする姿がみられたことが大きな成果である。

今後、できるだけ多くの生徒に地元、国内、そして国外の交流活動に参画する機会を与え、課題解決能力を高めることができるように、今後もカリキュラムを見直していく必要がある。

運営指導委員会

- ・高知大学海洋コア総合研究センター 教授
- ・室戸ジオパーク推進協議会 地理専門員
- ・高知学園大学 学長
- ・高知県青年国際交流機構(高知県IYEO)職員
- ・高知県 観光振興部 地域観光課長

校内体制についての指導助言
取り組み過程における課題の洗い出しと改善策

その他の主な支援団体

- ・学校運営協議会：学校運営に関わる支援
- ・室戸高等学校魅力化の会：学校振興のための対策、財政的支援の検討
- ・室戸市内各企業：インターンシップ、商品開発等
- ・海外交流アドバイザー：主にジオパーク関連の海外交流の企画、運営
- ・地域協働学習実施支援員：地域との連携、生徒の探究活動推進のための調整

総合的な探究の時間や課題探究、キャリア教育など、様々な場面で協力してくださっている団体。今後も継続的な協力が見込まれる。

コンソーシアム

【実施実績(会議)】 令和元年度 2回、2年度 1回、3年度 2回(予定含む)

機関名	役割
室戸ジオパーク推進協議会	・国内外の世界ジオパーク関連施設との交流や現地校との連携 ・室戸高校とジオパークのP R活動 ・国際交流企画及び調整
室戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会	・地域実践活動についての指導・助言 ・地域課題についての問題提起 ・課題解決学習や交流学習についての指導・助言
室戸市E S D活動拠点センター	・産業社会と人間、ジオパーク学、室戸学への講師派遣 ・室戸市E S Dへの協力
高知県立室戸高等学校	・研究開発に関する総括
高知県教育委員会	・全体総括

【成果】有識者（高知大学准教授）から指導助言をいただくことで、教育的視点から、生徒の成長について助言いただけたので、具体的な活動の方向性を考えることができた。

【課題】この会議で「学校が考える地域貢献」と「地域が求める学校の活動」のすり合わせ、高校生の地域での活動を活発化を期待していたが、もっと地域と学校が考えを活発に話し合える場所にと良かった。

→学校が具体的な提案を準備し、その提案に対する改善や助言という流れがあるとよかった。

・有識者、地域ステークホルダーの位置づけがあいまいだった。

→それぞれの役割について学校側がよく理解し、役割分担に沿った会の進行を行う必要があった。

カリキュラム開発の変遷（ジオパークを軸とした改革）

教科	グローバルを意識した分野	1学期	2学期	3学期
国語	● ☆小論文等		○	○
地歴・公民	● ★ □教材全般	○	○	○
数学	★ □グラフ・統計分析			○
理科	□地震災害 ★生物保護	○	○	
英語	☆ ●ディベート □ ☆海外交流	○	○	○
家庭・芸術	★日本伝統文化		○	○
工業	□国際規格とものづくり	○		

教科	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
コミ英	単元	日本の余韻 (富士山)	動物 (動物の種類)	スポーツ (長文読解)	日本文化 (カワイイ文化)		食品開発 (安部百種)	資源の活用 (パナペーパー)	水の循環、地球 (ISS)	書籍 (ワテラグチ)	人権問題 (アバウトヘイト)	日本人の生活 (サグラダファミリア)
	カテゴリ	文化	災害・自然	教育	文化		教育	資源・エネルギー	資源・エネルギー	文化	社会	仕事
生物基礎	単元	生物の多様性と共通性	代謝 (植物と動物の構造)	遺伝 (ゲノムについて)	遺伝 (バイオテクノロジー)		恒常性 (生命維持のしくみ)	恒常性 (ホルモンの役割)	免疫 (健康を壊すしくみ)	食料 (多様性と人類の未来)	生態系 (多様性)	生態系 (多様性)
	カテゴリ	災害・自然	災害・自然	災害・自然	仕事		健康	健康	健康	健康	災害・自然	資源・エネルギー
家庭基礎	単元	自分らしい生き方と家業	自分らしい生き方と家族/子どもにかかわる	子どもにかかわる/高齢者にかかわる	高齢者にかかわる/社会にかかわる		食生活にかかわる	食生活にかかわる	衣食生活をつくる	衣食生活をつくる	住生活を作る	消費行動を考える
	カテゴリ	仕事	仕事	仕事	仕事		文化	健康	文化	資源・エネルギー	文化	経済
現代社会	単元	民主政治の成立	日本国憲法 基本的人権、平和主義	日本の政治機構と政治参加			市場の仕組み	経済成長 金融	財政、租税 戦後の日本経済史	消費者問題、公害 労働者問題、社会保	国際社会と国際平和	国際経済
	カテゴリ	社会	社会	社会	文化		仕事	仕事	仕事	文化	文化	文化
保健体育	単元	健康の現状	健康の考え方	生活習慣病と日本の生活	喫煙、飲酒と健康		事故と健康/感染症	性感染症とエイズ	欲求とストレス	心の健康	交通安全	応急手当/心肺蘇生法
	カテゴリ	健康	健康	健康	健康		健康	健康	健康	健康	社会	健康

教科と事業を関連させたカリキュラム（福祉科）

- 1 行事 新たなジオコースを設立！ ～ガイドヘルプを通して、五感で感じる室戸の魅力～
- 2 目的 世界に誇る室戸世界ユネスコジオパークの魅力を、障がいの有無等に関わらず、全ての人に体感してもらうための方法
- 3 期間 令和3年10月～令和3年12月

【成果】

- ・試行錯誤の過程において、教員の教科間連携の意識向上。
- ・「教科とジオパークをつなげる」校内研修による意識向上
→ジオパークと教科をつなげるという取り組みにより、探究の深まりが促進

【課題と解決策】

- ・担当者が複数にわたることによる負担の軽減
→Google Classroomを共同運営するなど、情報共有プラットフォームを活用することでかなり改善可能
- ・継続性と汎用性（いかにして他教科に広げるか）
→今回の「ジオ学×福祉」をロールモデルに、教科間連携の実現による教育効果、年間計画を共有し、取組を広げる

特色ある科目



知る

気付く

探究する

表現する

1年 産業社会と人間（室戸学）

ライフプラン発表会

2年 続・産業社会と人間（職場体験）

職場体験発表会

2年 ジオパーク学（選択）

研究成果発表

3年 課題研究

課題研究発表会

総合学科発表会

1～3年 ボランティア活動

1～3年 ロングホーム・特別活動 国際交流

ジオパーク学

2年生の商工業・芸術系列の生徒が受講できる学校設定科目。ジオパークの専門員の方を講師に招き、専門的な学習を行い、指導のもと学会発表(日本地球惑星連合2019年大会)やジオパークジオラマの作成などを行ってきた。

【運営指導委員会で提起された課題と取組】

①外部講師との打ち合わせが不十分

→場所や時間を選ばずに情報やデータを共有できるプラットフォームの活用
e.g. Google Classroom, Google Drive

②週2時間では研究を深めることが困難

→教科間連携による学びの深まりと広がり推進



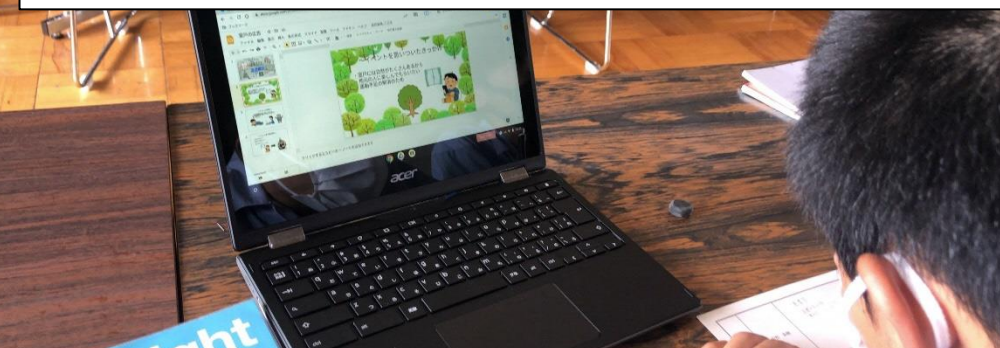
本事業のテーマである「目指せ！持続可能な社会の担い手を育む教育の実践～ユネスコ世界ジオパークとともに～」をこの科目を中心に進めていった。

- ・ジオパーク学選択者と福祉系列「コミュニケーション技術」選択者のプロジェクト「ジオパークツアーにおけるUD～食べて触って聞くジオパーク～」
- ・教科間連携のモデルとして位置づけ、来年度につなげる

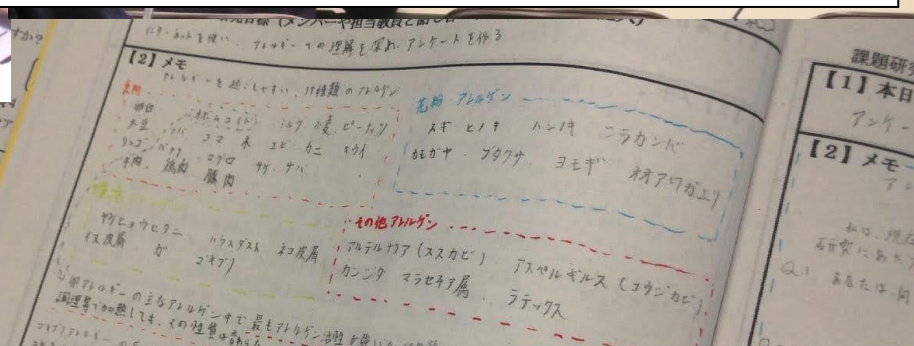


特色ある科目

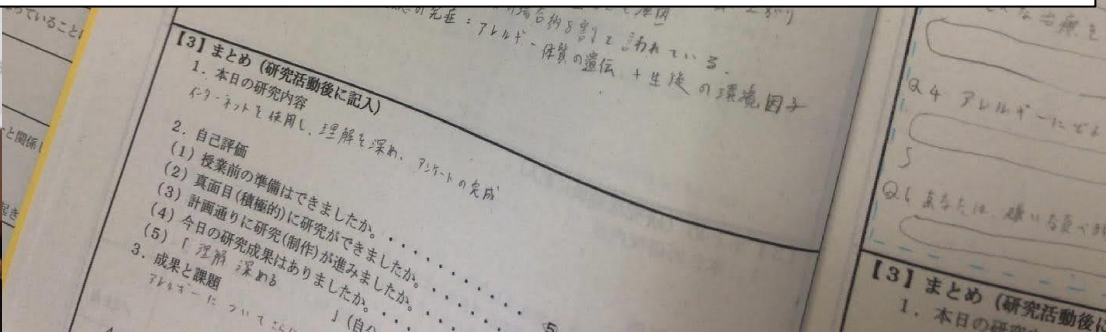
(1年) 産業社会と人間：地域を知る、自分自身を知る(ライフプラン)



(2年) 続産業社会と人間：地域貢献について考え、発表する



(3年) 課題研究：探究する、発表する (個人研究)



横と縦のつながりの構築

防災探究活動 市役所での発表

協働について提案をいただく機会も増え、地域ステークホルダーとの関わりが活発になった。

- 防災探究活動への協力
- 生徒参加行事への市長の参加
- 小中高連携の推進

ランカウイジオパークとの合同イベント

小高連携

Google Meetを活用し、地域の小学生の探究発表を高校生が視聴、質疑

- 本校は「国語総合」（相手に伝わるように質問をしよう）
- 小学校は「探究活動」（地域の良いところを紹介し、魅力を伝える）の時間を活用

- ・小高間での教科間連携ができたことで互いに大きなメリットがあった
 - ・Google Meetを活用することで容易にやり取りができた
- 今後、この取り組みをまとめ、地域の小中学校に連携のロールモデルとして示す予定

3年間をとおしての生徒の姿

令和元年：ジオパーク関連活動の活発化

- ・指定事業に伴う地域人材確保や協力体制強化によりジオパークを軸とした高校生の活動が活発化
(ユネスコ世界ジオパーク再認定審査での発表、ランカウイジオパーク訪問、日本地球惑星学会発表)

令和2年：オンライン活動充実期

- ・大会や訪問が中止される中、オンラインによる他地域、学校との交流やイベントへの参加が加速化
- ・オンラインの活用を模索しながら、海外との交流も活発化

令和3年：自ら考え行動できる生徒の育成に向けて

- ・地域ステークホルダーとの協働体制が強化、生徒の探究活動が活発化
- ・最終年度を迎え、継続的な取り組みの在り方を模索、事業後に向けての準備を進める
(連携協定の締結、ユネスコスクールへの申請)



今後の展望

「協働体制」の構築

連携協定

令和3年7月7日、室戸ジオパーク推進協議会との連携協定が実現し、協働体制の強化につながった。
 →「協働の根拠」を持つことで、協働が促進された（探究活動支援、ジオパーク関連企画への参加など）

ユネスコスクール申請

令和3年12月5日～トライアル期間。鳴門教育大学の田村教授をアドバイザーに、ステークホルダーへの情報発信や協力依頼をしながら今後の取り組みを進めていく。ユネスコスクールを軸とした連携体制の構築を模索したい。→このように、協働するためのインフラ作りが継続的な活動には不可欠である

コンソーシアムのイメージの具現化 （例：国際交流準備会）

- ・毎月準備会を実施
- ・交流会準備の進捗確認
- ・組織の役割の確認

※それぞれが「何ができるのか」「何を望むのか」について活発な意見交換ができています。

→今後、この準備会をイメージした会を定期的を開催することで、連携体制の継続と教科に繋がっていくことを期待している。

主催：高知県立室戸高等学校 共催：室戸市、室戸市教育委員会、室戸ジオパーク推進協議会

ユネスコ世界ジオパーク
高校生国際交流会
 ～持続可能な地域社会の実現のために高校生ができること～

令和4年
2月4日(金)

9:30-16:00

オンライン開催

室戸高校は文部科学省による指定事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」指定校としてジオパークを柱としたさまざまな活動に取り組んでまいりました。指定校事業の最終年度を迎え、「国内外のジオパーク関連地域の高校生が研究や実践を共有し、意見交換することによって地域理解と郷土への愛着を深め、地域課題の解決策を考える機会とする」ことを目標に本交流会を開催いたします。

分科会① 防災・減災

地域の自然環境や気候条件に即した
防災・減災への取り組みについて



分科会② 保全活動

地域の自然環境を取り巻く状況と
課題の発見、解決策の提案について



分科会③ 地域との連携

持続可能社会の実現のために地域と
協働して行っていることについて

